

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 5月26日（月）

2 確認箇所

- ・ No. 1 重油タンク（1号機タービン建屋北側）跡地
- ・ サブドレン集水タンク設置工事現場（ろ過水タンク西側エリア）
（図1）

3 確認項目

- （1）2.5m盤サブドレン集水設備機能移転工事に係るNo. 1 重油タンク解体撤去後の状況確認
- （2）T. P. 33.5 m 盤におけるサブドレン集水タンク等設置工事の状況

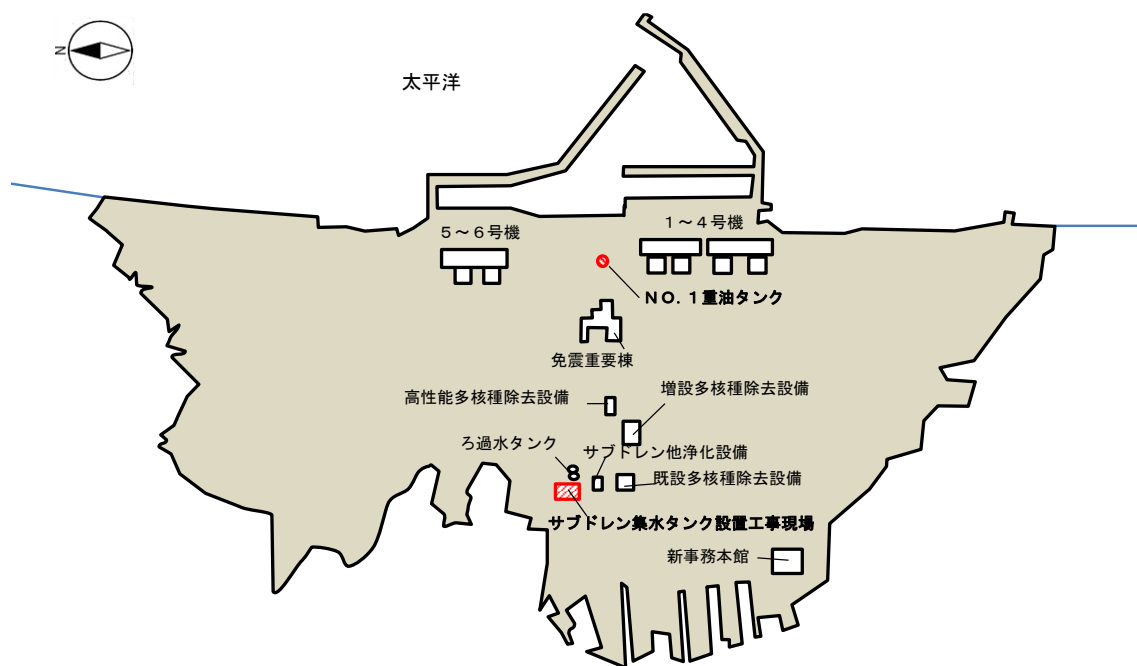
4 確認結果の概要

- （1）2.5m盤サブドレン集水設備機能移転工事に係るNo. 1 重油タンク解体撤去後の状況確認

津波対策の一環として現在T. P. 2.5m盤に設置されている1－4号サブドレン他集水設備を高台（33.5m盤）に機能移転する工事が進められている。これに関連し、T. P. 8.5m盤1号機タービン建屋北側にある重油タンクを解体、その跡地に移送用中継タンクを設置する計画となっている。

今回は、前回に引き続き、No. 1 重油タンクの解体作業の進捗状況を確認した。（前回確認：令和6年12月12日）

- ・ 前々回の確認においては、No. 1 重油タンクは全て解体され、現場には足場を解体した部材が保管されていたが、今回の確認では、部材の撤去がさらに進んだ状況が確認された。（写真1）
- ・ 跡地には、移送用中継タンクが設置される予定となっているが、現時点においては、当該工事の進捗は確認されず、1号機大型カバー設置工事に伴う部材の組立て及び構台付属設備の仮置きに使用されていた。（写真2）



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1)
No. 1 重油タンク跡地の状況



(写真 2 - 1)
No. 1 重油タンク解体物保管エリアの
状況①



(写真 2 - 2)

No. 1 重油タンク解体物保管エリアの
状況②

(1号機大型カバー設置工事に使用
する部材を仮置き)

(2) T. P. 33.5 m 盤におけるサブドレン集水タンク等設置工事の状況

津波対策の一環として、T. P. 2.5 m 盤（防潮堤の外側）に設置されているサブドレン集水設備の機能を高台の T. P. 33.5 m 盤に移転するための工事が進められている。

今回は、ろ過水タンク西側エリアで実施されているサブドレン集水タンク等設置工事の進捗状況を確認した。（前回確認：令和 7 年 3 月 4 日）

- ・ 10 基全ての溶接型タンクの組み立てが完了し、これらタンクを囲う外堰の設置工事が行われていた。（写真 3、5）
- ・ タンク群東側に設置されたポンプ建屋（サブドレン高台集水タンク払出ポンプ建屋）の設置工事は完了しており、同敷地内の高圧配電盤の設置も完了していた。（写真 4、8）
- ・ タンク群西側の配管敷設及び東側での溢水防止用堰内における配管の接続工事は継続中であった。（写真 6、7）



(写真 3) タンク群西側の状況



(写真 4) タンク群東側の状況



(写真 5) 外堰の防水塗装状況



(写真 6) 配管敷設状況（未接続）



(写真 7) 配管の接続状況（未接続）



(写真 8) 高圧配電盤の設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。